

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月6日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	南島原市IoT推進コンソーシアム	代表者名	会長 神崎 健輔
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	0957-73-6633
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	859-2204 長崎県南島原市有家町蒲河		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	南島原市	連絡先部署	農林水産部農林課
担当者氏名		連絡先電話番号	0957-73-6661
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 亮
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アイデアソンを成功させるには、イベントの目的、内容、成果は何を求めているのかを、しっかり設定のうえ、参加者に活動を明確に伝える必要がある。原氏は、数多くの経験の中から、今回のアイデアソンの趣旨と参加者の属性を把握し、イベントをコーディネートするうえ、その情報を的確に参加者に伝え、効率が良いアイデアソンが実施できた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月3日	12時00分	17時00分	60	240
3-2. 派遣場所	会場名	旧長野小学校		最寄駅	長崎空港
	所在地	長崎県南島原市西有家町長野1776			
	最寄駅からの交通手段	事務局による自動車での送迎			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 大学生、高校生、一般、企業等、職員	人数 27人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 効率化や収量向上など、農林水産業はIT活用によるデータ化・可視化により課題解決を図れる部分が多いが、情報や知見が少ない状況にある。アイデアソンの実施により、地元生産者・学生・IT関係者等が置かれている課題を共有・交流する場を作り、知見習得することにより、生産者にとってIT活用が身近なものとなる。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	生産者がITに関心を持ち、ITが生産者に関心を持ち、地域の学生がそれをアイデアベースで応援できる仕組みづくりが必要。生産者、IT関係者、学生等が現場視察や意見交換等を実施し、令和2年3月までに「生産者が求めるITソリューション創発のプロジェクト」を1つ以上立ち上げ、ゼロの段階から共に開拓・検証していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	1日目は、オリエンテーション、参加者へのアイデアソンについてのインプット、チームビルディング、チームごとの農家フィールドワークを行い、アイデアソンのコーディネーターとしての役割を担ってもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	学生、企業、一般の様々な参加者がいる中で、アイデアソンについてのインプットとチームビルディングが重要となる。的確に情報を伝えたことにより、参加者同士の混乱や苦情もなく、的確に遂行できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていないイベント初日のため、具体的な成果はまだない。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 成果発表と併せ、個別に感想を伺ったため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	農業の課題解決に向けた「生産者が求めるITソリューション創発のプロジェクト」を1つ以上立ち上げ、地域で開拓・検証していきながら、地域発祥の農業ITソリューションを事業化する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月6日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	南島原市IoT推進コンソーシアム			代表者名	会長 神崎 健輔
担当者部署	事務局			連絡先電話番号	0957-73-6633
担当者役職	事務局員	担当者氏名	中山 真吾	連絡先E-mail	
住所	859-2204 長崎県南島原市有家町蒲河				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	南島原市	連絡先部署	農林水産部農林課		
担当者氏名	小関 克稔	連絡先電話番号	0957-73-6661	連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 亮
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アイデアソンは、事業成果の設定で、イベントそのものの組み立て方やコーディネートの方法が変わる。今回のアイデアソンでは、参加者のモチベーションもうまく引き立てられ、本事業の目指す姿である「生産者が求めるITソリューション創発のプロジェクト」を1つ以上立ち上げ、地域で開発・検証していくことにつながるよう、一歩前進したと考えられる。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月4日	9時00分	13時00分		240
3-2. 派遣場所	会場名	赤い屋根のふるさと交流館		最寄駅	長崎空港
	所在地	長崎県南島原市加津佐町戊1208			
	最寄駅からの交通手段	事務局による自動車での送迎			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	大学生、高校生、一般、企業等、職員	19人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	効率化や収量向上など、農林水産業はIT活用によるデータ化・可視化により課題解決を図れる部分が多いが、情報や知見が少ない状況にある。アイデアソンの実施により、地元生産者・学生・IT関係者等が置かれている課題を共有・交流する場を作り、知見習得することにより、生産者にとってIT活用が身近なものとなる。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	生産者がITに関心を持ち、ITが生産者に関心を持ち、地域の学生がそれをアイデアベースで応援できる仕組みづくりが必要。生産者、IT関係者、学生等が現場視察や意見交換等を実施し、令和2年3月までに「生産者が求めるITソリューション創発のプロジェクト」を1つ以上立ち上げ、ゼロの段階から共に関わり、地域で開発・検証していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	2日目は、ワークショップ形式でチームごとにアイデアソンを行い、アイデアをとりまとめるうえ、成果発表会を行い、アイデアのまとめ方のインプットや、チームへのアドバイス、アイデアの次のステップへの導きを担ってもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	アイデアソンで提案されたアイデアが実証まで進むことはなかなか難しい中、今回のアイデアソンでは、実証まで進めそうなアイデアが複数提案された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 計画策定までは至っていないが、実証可能なアイデアが提案されたので、今後、南島原市IoT推進コンソーシアムで検討のうえ、実証の計画を策定する見込み。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 成果発表と併せ、個別に感想を伺ったため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	農業の課題解決に向けた「生産者が求めるITソリューション創発のプロジェクト」を1つ以上立ち上げ、地域で開発・検証していきながら、地域発祥の農業ITソリューションを事業化する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

